

推薦する取り組み

園館名

高齢フタコブラクダの健康寿命を延ばしたい！

大阪市天王寺動物園

推薦理由

天王寺動物園ではまもなく28歳になる高齢のフタコブラクダ♂1頭を飼育している。

他園でも高齢のフタコブラクダが起立困難になる事例を確認しているが、当園のフタコブラクダも例外ではない。

年々座位、横臥位の時間が延びてきている為、専門学校生の卒業研究によりグラウンドの環境を改善し、自発的な行動を促し立位時間の増加を目指した。

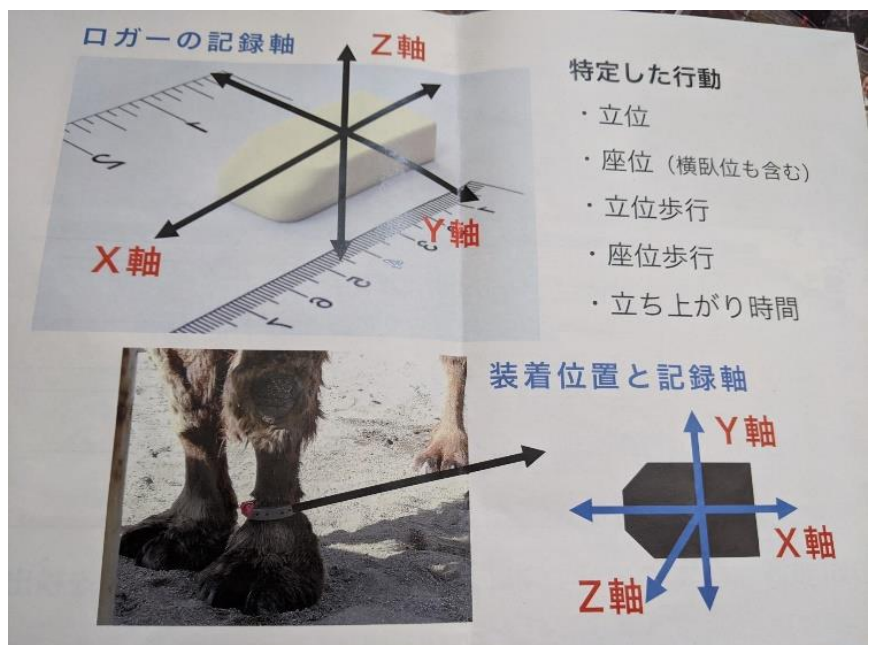
併せて明治大学の山本氏との共同研究により前肢にデータロガーを装着し「立位、座位(横臥位含む)、立位歩行、座位歩行、起立に要する時間」の行動を記録した。

改善した内容は ①給餌台増設 ②水飲み台設置 ③フィーダー設置 ④枝葉設置 ⑤グラウンドの雑草除去 ⑥グラウンド土均し。

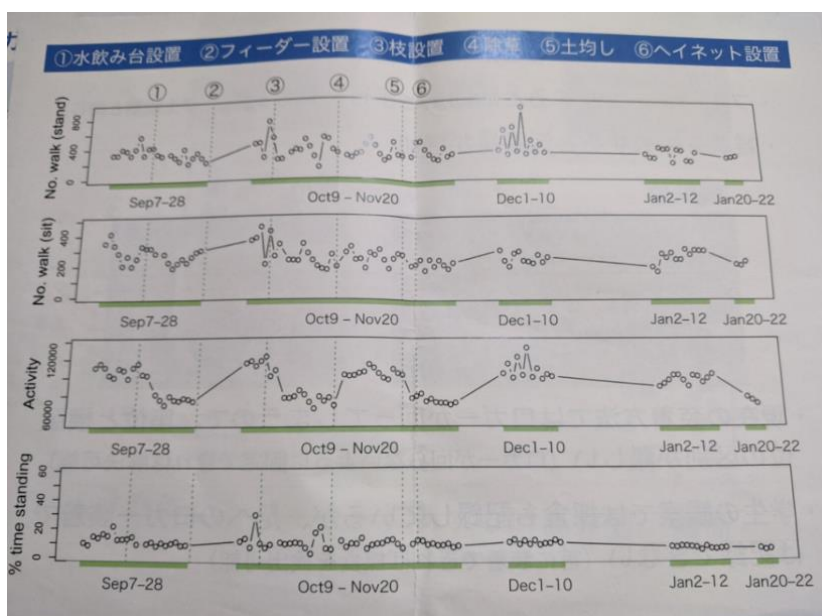
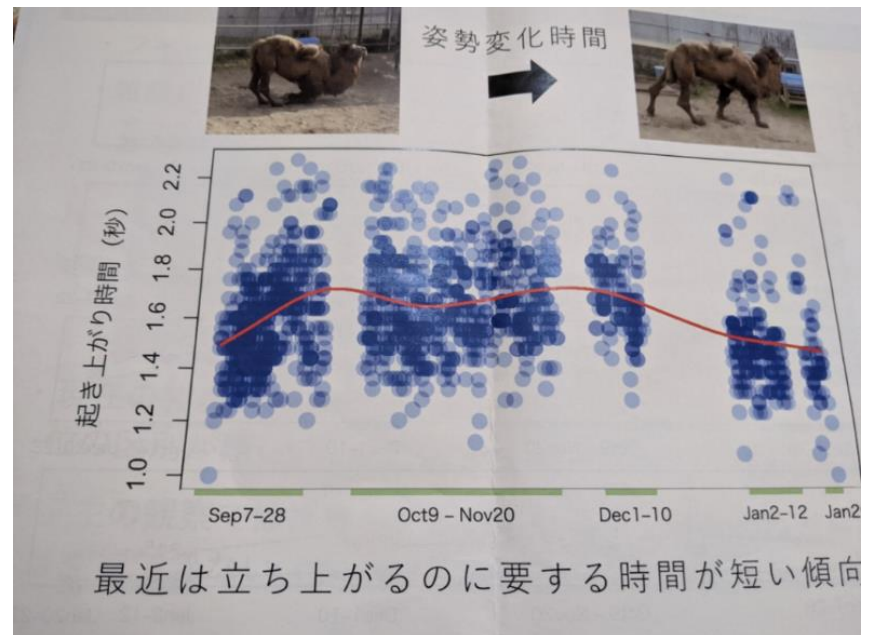
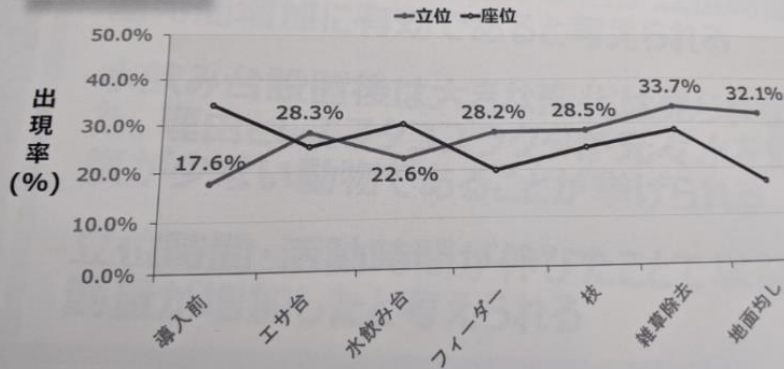
結果は立位時間の増加、活動時間の増加、起立に要する時間の短縮が確認できた。

季節により行動が変わる為引き続き記録を続けている。

ハズバンダリートレーニングにより毎日検温、定期的な体重測定、採血も行っており健康状態を把握しており、健康に長生きできるように取り組んでいる。



結果3 立位・座位の出現率



推薦する取り組み

園館名

高齢ラクダへの取り組み

大阪市天王寺動物園

推薦理由

天王寺動物園には現在 27 歳になるフタコブラクダのジャックが暮らしています。

高齢の域に入るジャックに、健康で長生きしてもらいたい、これからも自分の足で歩いてもらいたいと行っておられる様々な取り組みを推薦します。

◆定期的な体重測定

ジャックは発情期である 2～4 月にかけて餌を食べなくなり、体重がかなり減少します。

毎年のデータを取っておくことで減少の度合いが例年通りなのか、異常なのかわかります。

◆定期的な採血

ジャックはトレーニングにより無麻酔下での採血が出来ますので、定期的に採血することにより内臓に異常がないか数値で知ることが出来ます。ジャックの(というよりは高齢ラクダの)血液の数値のデータを蓄積されています。

◆日々の検温

ジャックの平熱を把握することで、熱があるのかどうかということをいち早く気づくことが出来ます。

また、ラクダの体温データを蓄積することも目的にされています。

◆データロガーによる行動調査

左前脚にデータロガーを装着して、ジャックの行動調査をされています。

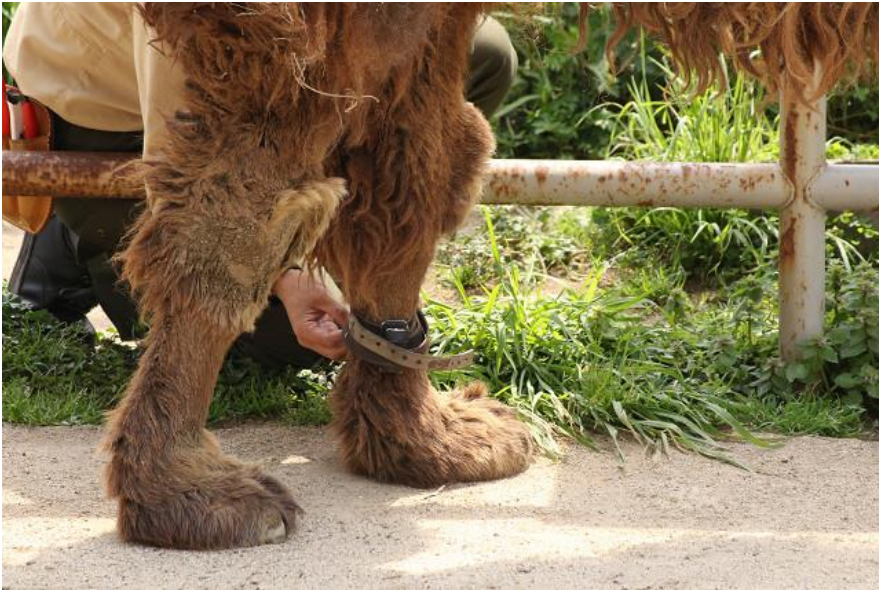
このデータロガーは角度も感知できるように、じっとしている時に立っているのか座っているのかが分かるものだそうです。

◆フィーダー等設置による採餌場所の増設

ジャックに自発的に歩いてもらうことを目的に昨年実習生の方の協力のもと、採餌場所を増設されました。今まではキーパー通路側に餌台と乾草籠しかなかったのですが、園路側に餌台をもう一か所設置され、その他にもヘイネットを吊るす、消防ホースを使ったフィーダーを数か所設置、枝葉を挿すパイプを数か所設置されていて、ジャックがあちこち食べ歩けるようにされました。それによりジャックが次はどれを食べにしようかと考える様子が見られるようになりました。また、昨年の行動調査の結果から、草の丈が高いとそこを歩くのを嫌がる傾向がみられたため、定期的にグラウンドの草刈りをされています。



ジャックの体重測定と検温



左前脚に装着しているデータロガー



ヘイネットの青草を食べるジャック



フィーダーからオヤツをとるジャック



パイプに挿した枝葉を食べるジャック